



大げやき

こころを高く
思いやりのある
深小っ子の育成

特別号
R4.11.7 発行



さらなる学力向上に向けて

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、毎月発行しております学校だより「大げやき」ですが、今回は特別号として、本校の子供たちの学力についてお知らせいたします。

4月19日に6年生が「全国学力・学習状況調査」を、5月11日に4・5・6年生が「埼玉県学力・学習状況調査」を実施しました。その2つの学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、結果の概要をお伝えいたします。なお、質問紙調査の結果は、本校のホームページで公開しておりますのでそちらをご覧ください。

全国学力・学習状況調査

平均正答率 単位(%)

算数と理科に強い深小っ子！

教科	国語	算数	理科
深谷小6年生	同等	上回った	上回った
埼玉県	67	64	65
全国	65.6	63.2	63.3

「よかった点(O)」と「課題(●)」

【国語】

- 「言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える」「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」の問題で、全国や県の正答率を大きく上回った。
- 「表現の効果を考える」「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」の問題の正答率が低かった。

【算数】

- 「二つの数の最小公倍数を求める」「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる」「百分率で表された割合と基準量から、比較量を求める」の問題で、全国や県の正答率を大きく上回った。
- 「果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ」「示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直すことができる」の問題の正答率が低かった。

【理科】

- 「メスシリンダーという器具を理解している」「観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる」の問題で、全国や県の正答率を大きく上回った。
- 「観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる」「水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している」の問題で、全国や県の正答率を下回った。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・物語などの文章を読む際、「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目できるように指導していく。また、自分の文章のよいところを見付けられるようにするために、自分が書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりする経験を低学年から積ませていく。

【算数】

- ・割合を用いて問題を解決する場面において、数量（飲み物の量）が変わっても割合（飲み物の濃さ）は変わらないことを日常の場面に対応させながら理解できるように指導していく。「図形」の領域においては、辺の長さや角の大きさなどに着目して、図形の意味や性質を基に作図の仕方を考えたり、作図の仕方を筋道立てて説明したりすることができるようにする。

【理科】

- ・観察・実験の結果を、自分や他者の気づきを基に分析して、解釈し、問題を見い出すことができるようにするために、それぞれの気づきの視点を明確にし、差異点や共通点などから新たな問題を見い出せるように指導していく。また、問題解決を通して習得した知識を使って、日常生活との関わりの中で捉え直す場面を設定することで、知識をより深く理解できるように指導していく。

埼玉県学力・学習状況調査

4、6年生は県以上の学力！
5年生は同等。

平均正答率 単位(%)

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
深谷小	上回った	同等	上回った	上回った	同等	上回った
埼玉県	62.1	56.2	63.8	63.0	63.0	59.8

学力レベル

教科	国語			算数		
学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
深谷小	6-C	6-A	7-A	5-A	6-C	7-B
埼玉県	6-C	6-A	7-A	5-B	6-C	6-A

一人一人をより伸ばすための取組

- ・習熟度別による算数での少人数指導を充実させ、低位層には基礎・基本の確実な定着を図る授業を、中・上位層には学習したことを生かす発展的な授業を実践していく。
- ・朝学習「チャレンジタイム」において、学力向上プロジェクト問題に繰り返し取り組み、学習内容の定着を図っていく。
- ・家庭学習の見届けを丁寧に行い、一人一人に応じた支援をきめ細かく行っていく。
- ・授業や家庭でのタブレットの使用頻度をさらに高め、使用場面や使用アプリを考え、効果的に活用した学びを推進していく。
- ・読書指導を充実させ、学校や家庭で本に触れる機会を増やし、読解力の向上を図っていく。

本日4年生から6年生には結果の個人票を配付しました。各家庭で、子供たちの苦手な部分を把握していただき、今後の学習に活かしていただけたいと思います。よろしくお願いいたします。